



広野駅を利用する多くの学生たち



開放感のあるコンコース



広々とした待合スペース

地域とともにつくる施設

この交流施設は、地域の皆さんとともに育てていく施設です。

「こんなことができたらいい」
「こう使ってみたい」

そんなアイデアが、新しいにぎわいにつながります。

町では、定期的なイベント活用や出店など、多様な利用を歓迎しています。



災害時には“地域を守る拠点”に

本施設は、平常時の交流機能に加え、災害時には防災拠点として活用できます。

- ・一時的な避難スペース
- ・情報提供の拠点
- ・帰宅困難者の受入れ



いざという時にも、地域を支える安心の拠点としての役割を担います。

今後の展開

広野駅交流施設では、今後、

- ・定期的なイベント開催
- ・観光や地域情報の発信

などを通じて、さらなるにぎわいの創出を目指します。

メッセージ



この場所は、人と人が出会い、話し、つながる場所です。ちょっと立ち寄り。少し話す。何かを一緒にやってみる。そんな小さなきっかけから、新しい動きやにぎわいが生まれていきます。みんなでつくる、みんなの場所へ。広野駅から、新しいつながりが広がっていきます。

人がつながる、新しい駅のかたち 広野駅交流施設、完成

広野駅に、新たなにぎわいの拠点となる「交流施設」が誕生しました。この施設は、通勤・通学で駅を利用する方はもちろん、地域の皆さんや来訪者が気軽に立ち寄り、つながりが生まれることを期待して整備しました。“ただ通過する駅”から、“人が集い、時間を過ごす駅”へ。広野町の新たな日常が、ここから始まります。



こんな使い方ができます

- 日常の中で
 - ・待ち時間の休憩スペースとして
 - ・学生の学習や交流の場として
 - ・ちょっとした打合せや談話の場として
- イベント・活動で
 - ・ワークショップや展示イベント
 - ・観光や地域情報の発信

日替わり・週替わりで様々な企画が展開されることで、訪れるたびに新しい出会いが生まれます。

施設のコンセプト 「つながる・ひろがる・生まれる」

本施設は、

- ・人と人がつながる
- ・活動や交流がひろがる
- ・新しい価値やにぎわいが生まれる

そんな“交流の循環”を期待しています。

問 広野町 政策企画課（交流施設担当） ☎0240-27-1251



交流施設外観



待合室を利用する駅利用者